

製品名: RNF130 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17286**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF130
別名	RNF130; E3 ubiquitin-protein ligase RNF130; Goliath homolog; H-Goliath; RING finger protein 130
遺伝子 ID	55819.0
SwissProt ID	Q86XS8
免疫原	抗血清はヒト RNF130 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

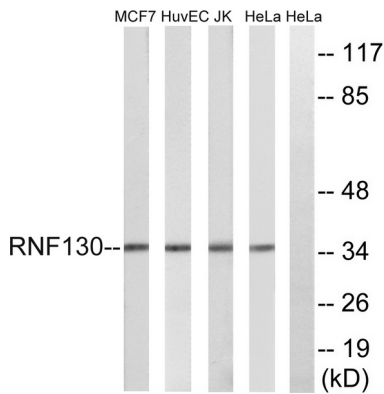
背景

リングフィンガータンパク質 130 (RNF130) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は RING フィンガーモチー

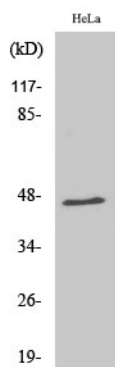
フを含み、ショウジョウバエのジンクフィンガータンパク質である g1 と類似しています。g1 は中胚葉で発現し、胚発生に関与しています。マウスでは、IL-3 欠乏後の骨髄芽球細胞において、対応するタンパク質の発現が亢進することが報告されており、この遺伝子が骨髄前駆細胞における成長因子除去誘導性アポトーシスを制御する可能性を示唆しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]機能: 造血細胞のプログラム細胞死において役割を果たす可能性があります。類似性: PA (プロテアーゼ関連) ドメインを 1 つ含みます。類似性: RING 型ジンクフィンガーを 1 つ含みます。

研究分野

画像データ



RNF130 抗体を用いた HeLa 細胞、Jurkat 細胞、HUVEC 細胞、MCF-7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



RNF130 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。